

令和6年度 高等部 1年 (Ⅱ課程A) 国語科 年間指導計画

単位数 /配当時数	生徒	担当者	教科書/副教材
2/70	高等部1学年 Ⅱ課程A類型 22名		参考図書『くらしに役立つ国語』(東洋館出版社)

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技)社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しむことができる。(高1段階) (思判表力)筋道を立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようにする。(高1段階) (学・人)言葉がもつよさを認識するとともに、幅広く読書や言葉に親しみをもち、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。(高1段階)				
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間	70	(知及技)社会生活に係る人とのやり取りを通して、言葉には、考えたことや思ったことを表す動きがあることに気付くことができる。(高1段階) (思判表力)社会の中で関わる人の話などを、話し手が伝えたいことの中に注意して聞き、話の内容を捉えることができる。(高1段階) (学・人)言葉がもつよさを認識するとともに、幅広く読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうすることができる。(高1段階)	(知・技)社会生活に係る人とのやり取りを通して、言葉には、考えたことや思ったことを表す動きがあることに気付くことができる。(高1段階) (思・判・表)社会の中で関わる人の話などを、話し手が伝えたいことの中に注意して聞き、話の内容を捉えようとしている。 (主学)言葉がもつよさを認識するとともに、幅広く読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとしている。	自分の意思を言語化しよう 他者を意識した言葉を用いよう	・自分自身の体験等を振り返り、出来事や感情を言語化して相手に伝える。 ・他者の意見や考えに触れ、自分の考え方や価値観を広げたり、他者理解するための話し合い活動を行う。 ・意識を自分の外にも巡らせ、世の中の出来事を捉えて社会に目を向ける。
		(知及技)相手を見て話したり聞いたりするとともに、間の取り方などに注意して話そうすることができる。(高1段階) (思判表力)相手に伝わるように、言葉の抑揚や強調、間の取り方などを工夫することができる。(高1段階) (学・人)言葉がもつよさを認識し、思いや考えを伝え合おうすることができる。(高1段階)	(知・技)相手を見て話したり聞いたりするとともに、間の取り方などに注意して話そうとしている。 (思・判・表)相手に伝わるように、言葉の抑揚や強調、間の取り方などを工夫しようとしている。 (主学)言葉がもつよさを認識し、思いや考えを伝え合おうとしている。	自己紹介をしよう 自分のことを伝えよう 相手のことを知ろう	・簡単な文章やイラストなどを用いて、読み手に相手に伝わるように自己紹介シートを作成する。 ・自分の好きなことや得意なこと、長所などの情報を簡単にまとめ、仲間や先生などへ紹介をする。 ・友達の自己紹介シートを見たり、自己紹介を聞いたりして、気づいたことや感じたことを発表する。 新入生歓迎会、コーポレーション、先生などの相手や目的を想定して話す。
1 学期	5	(知及技)日常よく使われる敬語を理解し使うことができる。(高1段階) (思判表力)社会の中で関わる人の話などを聞き、話し手が伝えたいことの中に注意して聞き、話の内容をとらえることができる。(高1段階) (学・人)言葉がもつよさを認識し、丁寧なことは違いで話そうすることができる。(高1段階)	(知及技)日常よく使われる敬語を理解し使うことができる。(高1段階) (思判表力)社会の中で関わる人の話などを聞き、話し手が伝えたいことの中に注意して聞き、話の内容をとらえようとしている。 (学・人)言葉がもつよさを認識し、丁寧なことは違いで話そうとしている。	挨拶の意義を考えよう 他者を慮る言葉遣い	・挨拶の場面をイメージし、挨拶をすることで与える印象について話し合う。 ・はなさき7ルールを理解し、話し合い活動で実践する。 ・具体的な場面(校内実習や現場実習)を想定して、挨拶や言葉遣いを繰り返し練習する。
		(知及技)日常生活に必要な語彙、様子や気持ちを表す語句を丁寧なことは違いを意識して活用することができる。(高1段階) (思判表力)経験したことから筋道を立てて考え、自分の思いや考えをまとめることができる。(高1段階) (学・人)言葉がもつよさを認識し、思いや考えを伝え合おうすることができる。(高1段階)	(知・技)日常生活に必要な語彙、様子や気持ちを表す語句を丁寧な言葉遣いを意識して活用しようとし、主語と述語を使った短い文章を書くこととしている。 (思・判・表)経験したことから筋道を立てて考え、自分の思いや考えをまとめている。 (主学)言葉がもつよさを認識し、思いや考えを伝え合おうとしている。	実習体験記① 平和学習	・実際に体験したことを振り返り、「出来事」と「感情・考えたこと」を結びつけて短い言葉で相手に伝わるように表現する。 ・平和について考え、自分の思いを「平和メッセージ」として表現する。
	5	(知及技)はがきの「あて名」の書き方や、文面の正しい書き方を理解できる。(中1段階) (思判表力)相手や目的を意識した表現ができる。(高1段階) (学・人)言葉の持つよさを認識し、自分の思いや考えを伝えようすることができる。(高1段階)	(知・技)はがきの「あて名」の書き方や、文面の正しい書き方を理解しようとしている。 (思・判・表)書く相手や目的を意識した表現をしようとしている。 (主学)言葉の持つよさを認識し、自分の思いや考えを伝えようとしている。	手紙の書き方① (暑中見舞い)	・はがきの書き方について学び、時節の挨拶と自分のこと、相手を気遣う言葉を送る。

2 学 期	6	(知及技)生活に身近な方言のことわざや慣用句を知り、様々な表現に親しむことができる。(高1段階) (思判表力)身近なしまくとぅばの使い方を知り、分かったことや感想を伝え合うことができる。(中1段階) (学・人)郷土の言語文化に親しむことができる。(高1段階)	(知・技)生活に身近な方言のことわざや慣用句を知り、様々な表現に興味を持ち、親しもうとしている (思・判・表)身近なしまくとぅばの使い方を知り、分かったことや感想を伝え合おうとしている。 (主学) 郷土の言語文化に親しもうとしている。	沖縄の方言を学ぼう うちなーぐちカルタ	・うちなーぐちでの挨拶や沖縄の昔話を学び、うちなーぐちカルタの札を用いて短い物語を作る。
	6	(知及技)日常生活に必要な語彙、様子や気持ちを表す語句を丁寧なことは違いを意識して活用することができる。主語と述語を使った短い文章を書くことができる。(高1段階) (思判表力)経験したことから筋道を立てて考え、自分の思いや考えをまとめることができる。(高1段階) (学・人)言葉がもつよさを認識し、思いや考えを伝え合おうとすることができる。(高1段階)	(知・技)日常生活に必要な語彙、様子や気持ちを表す語句を丁寧な言葉遣いを意識して活用しようとし、主語と述語を使った短い文章を書こうとしている。 (思・判・表)経験したことから筋道を立てて考え、自分の思いや考えをまとめようとしている。 (主学) 言葉がもつよさを認識し、思いや考えを伝え合おうとしている。	実習体験記②	・実際に体験したことを振り返り、「出来事」と「感情・考えたこと」を結びつけて短い言葉で相手に伝わるように表現する。 ・他者の体験談を聞いて、色々な仕事や感情を知る。
	10	(知及技)いろいろな種類の本があることを知り、文章の構成や内容を理解し、読み聞かせなどに取り組みむことができる。(高1段階) (思判表力)登場人物の行動や心情などについて叙述を基にとらえることができる。(高1段階) (学・人)本に親しみ、さまざまな表現を楽しむことができる。(高1段階)	(知・技)いろいろな種類の本があることを知り、文章の構成や内容を理解し、読み聞かせなどに取り組みむことができる。 (思・判・表)登場人物の行動や心情などについて叙述を基にとらえようとしている。 (主学) 本に親しみ、様々な表現を楽しもうとしている。	本を読む 本を紹介する	・図書館を利用し、好きな本を探して読む。 ・自分が選んだ本を読み聞かせをしたり、紹介したりする。 ・紹介された本を読む。
	9	(知及技)古典作品を音読し言葉の響きやリズムに親しみ、内容の大体を理解することができる。(高1段階) (思判表力)作品の登場人物の行動や心情を叙述を基に捉えることができる。(高1段階) (学・人)古典作品に親しみ、音読することができる。(高1段階)	(知・技)古典作品を音読し言葉の響きやリズムに親しみ、内容の大体を理解しようとしている。 (思・判・表)作品の登場人物の行動や心情を叙述を基にとらえようとしている。 (主学) 古典作品に親しみ、音読しようとしている。	古典作品に親しむ	・随筆を読んで、現在と昔の考え方や感じ方を比較する。 ・共通する考え方を身の回りの出来事に置き換えて考えを深める。
3 学 期	8	(知及技)筆の扱いや運筆、文字の組み立て方や形を整えて書くことができる。(高2段階) (思判表力)自分で選んだ文字について理由を説明することができる。(高1段階) (学・人)毛筆に興味を持ち、特性を理解して繰り返し書こうとすることができる。(小2段階)	(知・技)筆の扱いや運筆、文字の組み立て方や形を整えて書こうとしている。 (思・判・表)自分で選んだ文字について理由を説明しようとしている。 (主学) 毛筆に興味を持ち、特性を理解して繰り返し書こうとしている。	習字に親しむ	・毛筆でひらがなの練習をしたり、自分の名前を書いたりする。 ・新年の目標を立て、毛筆で丁寧に書く。
	5	(知及技)文章の構成や内容を考え、時間的な順序で情報を整理し、思い出のメッセージを書くことができる。(中1段階) (思判表力)話の中心を考えて、メッセージを書くことができる。(高1段階) (学・人)言葉の持つよさを理解し、感謝の気持ちを伝えることができる。(高1段階)	(知・技)文章の構成や内容を考え、時間的な順序で情報を整理し、思い出のメッセージを書こうとしている。 (思・判・表)話の中心を考えて、メッセージを書こうとしている。 (主学) 言葉の持つよさを理解し、感謝の気持ちを伝えようとしている。	手紙の書き方② (送辞の原稿作り)	・1年間を振り返って、先輩との思い出を言葉で表現する。
	5	(知及技)内容のまとまりや段落相互の関係に注意し、気持ちを表す言葉を用いて文章の構成をすることができる。(高1段階) (思判表力)自分の経験したことを順序よく表し、意見やその理由を伝えることができる。(中2段階) (学・人)言葉の持つよさを理解し、自分の考えや思いを素直に表現できる。(高1段階)	(知・技)内容のまとまりや段落相互の関係に注意し、気持ちを表す言葉を用いて文章の構成を考えようとしている。 (思・判・表)自分の経験したことを順序よく表し、意見やその理由をつたえようとしている。 (主学) 言葉の持つよさを理解し、自分の考えや思いを素直に伝えようとしている。	手紙の書き方③ (お礼の手紙)	・高校1年間を振り返って、お世話になった人(保護者や先生、関わってくれた方々)に感謝の思いを書く。
留意点 引継ぎ等	[評価資料] 授業プリント(振り返りシート)/提出物/活動の様子で評価する。				

令和6年度 高等部 2年 (Ⅱ課程A) 国語科 年間指導計画

単位数 /配当時間	生徒	担当者	教科書/副教材
2/70	2学年 Ⅱ課程A類型		参考図書『くらしに役立つ国語』(東洋館出版社)

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しむことができる。(高1段階) (思判表力)筋道を立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようにする。(高1段階) (学・人)言葉がもつよさを認識するとともに、幅広く読書や言葉に親しみをもち、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。(高1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	7 0	(知及技)漢字と仮名を用いた表記や送り仮名の付け方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点の使い方を意識して打つことができる。(高1段階) (思判表力)間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えることができる。(高1段階) (学・人)言葉がもつよさを認識し、思いや考えを伝え合おうとすることができる。(高1段階)	(知・技)漢字と仮名を用いた表記や送り仮名の付け方を理解して文や文章の中で使おうと、句読点の使い方を意識している。 (思・判・表)間違いを正そうとして、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えようとしている。 (主学)言葉がもつよさを認識し、思いや考えを伝え合おうとしている。	語彙を増やそう 正しく読もう書こう 情報の聞き取り 郷土の言語文化	・漢字の読み書き 小学校中学年～高学年までの漢字の読み書きに取り組む。 ・情報の聞き取り 社会生活に必要な情報を聞き取る学習に取り組む。
	2	(知及技)相手を見て話したり聞いたりするとともに、間の取り方などに注意して話することができる。(高1段階) (思判表力)相手に伝わるように、言葉の抑揚や強調、間の取り方などを工夫することができる。(高1段階) (学・人)言葉がもつよさを認識し、思いや考えを伝え合おうとすることができる。(高1段階)	(知・技)相手を見て話したり聞いたりするとともに、間の取り方などに注意して話そうとしている。 (思・判・表)相手に伝わるように、言葉の抑揚や強調、間の取り方などを工夫しようとしている。 (主学)言葉がもつよさを認識し、思いや考えを伝え合おうとしている。	自己紹介をしよう	・簡単な文章やイラストなどを用いて、読み手に相手に伝わるように自己紹介シートを作成する。 ・自分の好きなことや得意なこと、長所などの情報を簡単にまとめ、仲間や先生などに紹介をする。 ・友達の自己紹介シートを見たり、自己紹介を聞いたりして、気づいたことや感じたことを発表する。
	6	(知及技)日常生活でよく使われる敬語を理解し、様子や気持ちを表す語句を丁寧なことば遣いを意識して活用することができる。(高1段階) (思判表力)社会の中で関わる人の話などを聞き、話し手が伝えたいことに注意して聞き、話の内容をとらえることができる。(高1段階) (学・人)言葉がもつよさを認識し、丁寧なことば遣いで話することができる。(高1段階)	(知・技)日常生活でよく使われる敬語を理解し、様子や気持ちを表す語句を丁寧な言葉遣いを意識して活用しようとし、主語と述語を使った短い文章を書こうとしている。 (思・判・表)社会の中で関わる人の話などを聞き、話し手が伝えたいことの中心に注意して聞き、話の内容をとらえようとしている。 (主学)言葉がもつよさを認識し、丁寧な言葉遣いで話そうとしている。	挨拶と丁寧語	・はなさせ七ルール「ていねいなことばづかい」の取組み。 ・敬語の学習を実施する。 ・校内実習や現場実習の事前挨拶や受け答えの際に丁寧な対応ができるようにする。 ・具体的な場面を想像し、取り組みができるようにロールプレイを実施し、丁寧なことば遣いが与える印象に気づく。
	5	(知及技)日常生活に必要な語彙、様子や気持ちを表す語句を丁寧なことば遣いを意識して活用することができる。(高1段階) (思判表力)経験したことから筋道を立てて考え、自分の思いや考えをまとめることができる。(高1段階) (学・人)言葉がもつよさを認識し、思いや考えを伝え合おうとすることができる。(高1段階)	(知・技)日常生活に必要な語彙、様子や気持ちを表す語句を丁寧な言葉遣いを意識して活用しようとし、主語と述語を使った短い文章を書こうとしている。 (思・判・表)経験したことから筋道を立てて考え、自分の思いや考えをまとめようとしている。 (主学)言葉がもつよさを認識し、思いや考えを伝え合おうとしている。	実習俳句をつくらう① 平和学習	・実際に経験したことを振り返り、短い言葉で気持ちや情景を表現する。 ・平和の詩を読み、自分の考えを『平和メッセージ』として短い言葉で表現する。
	5	(知及技)はがきの「あて名」の書き方や、文面の正しい書き方を理解できる。(中1段階) (思判表力)相手や目的を意識した表現ができる。(高1段階) (学・人)言葉のもつよさを認識し、自分の思いや考えを伝えようとする。(高1段階)	(知・技)はがきの「あて名」の書き方や、文面の正しい書き方を理解しようとしている。 (思・判・表)書く相手や目的を意識した表現をしようとしている。 (主学)言葉のもつよさを認識し、自分の思いや考えを伝えようとしている。	手紙の書き方① (暑中見舞い)	・はがきの使い方を知り、送る相手に応じた表現方法の違いを知る。
	8	(知及技)生活に身近な方言のことわざや慣用句を知り、様々な表現に親しむことができる。(高1段階) (思判表力)身近なしまくとうばの使い方を知り、分かったことや感想を伝え合おうとすることができる。(中1段階) (学・人)郷土の言語文化に親しむことができる。(高1段階)	(知・技)生活に身近な方言のことわざや慣用句を知り、様々な表現に興味を持ち、親しもうとしている。 (思・判・表)身近なしまくとうばの使い方を知り、分かったことや感想を伝え合おうとしている。 (主学)郷土の言語文化に親しもうとしている。	身近な方言の学習 うちなーぐちカルタ	・うちなーぐちのあいさつや、沖縄の昔話を学習する。 ・うちなーぐちカルタを使い、身近な方言の学習を行う。

2 学期	5	(知及技)日常生活に必要な語彙、様子や気持ちを表す語句を丁寧なことば遣いを意識して活用することができる。(高1段階) (思判表力)経験したことから筋道を立てて考え、自分の思いや考えをまとめることができる。(高1段階) (学・人)言葉のもつよさを認識し、思いや考えを伝え合おうとすることができる。(高1段階)	(知・技)日常生活に必要な語彙、様子や気持ちを表す語句を丁寧な言葉遣いを意識して活用しようとし、主語と述語を使った短い文章を書こうとしている。 (思・判・表)経験したことから筋道を立てて考え、自分の思いや考えをまとめようとしている。 (主学)言葉のもつよさを認識し、思いや考えを伝え合おうとしている。	実習俳句をつくろう②	・実際に経験したことを振り返り、短い言葉で気持ちや情景を表現する。
	10	(知及技)いろいろな種類の本があることを知り、文章の構成や内容を理解し、読み聞かせなどに取り組むことができる。(高1段階) (思判表力)登場人物の行動や心情などについて叙述を基にとらえることができる。(高1段階) (学・人)本に親しみ、さまざまな表現を楽しむことができる。(高1段階)	(知・技)いろいろな種類の本があることを知り、文章の構成や内容を理解し、読み聞かせなどに取り組もうとしている。 (思・判・表)登場人物の行動や心情などについて叙述を基にとらえようとしている。 (主学)本に親しみ、様々な表現を楽しもうとしている。	本に親しむ	・図書館を利用し、様々な本の中から好きな本を選ぶ。 ・読み聞かせの取組みを行う。
	8	(知及技)古典作品を音読し言葉の響きやリズムに親しみ、内容の大体を理解することができる。(高1段階) (思判表力)作品の登場人物の行動や心情を叙述を基に捉えることができる。(高1段階) (学・人)古典作品に親しみ、音読することができる。(高1段階)	(知・技)古典作品を音読し言葉の響きやリズムに親しみ、内容の大体を理解しようとしている。 (思・判・表)作品の登場人物の行動や心情を叙述を基にとらえようとしている。 (主学)古典作品に親しみ、音読しようとしている。	古典作品を読もう	・枕草子、方丈記、徒然草の音読、暗唱
3 学期	10	(知及技)筆の扱いや運筆、文字の組み立て方や形を整えて書くことができる。(高2段階) (思判表力)自分で選んだ文字について理由を説明することができる。(高1段階) (学・人)毛筆に興味を持ち、特性を理解して繰り返し書こうとすることができる。(小2段階)	(知・技)筆の扱いや運筆、文字の組み立て方や形を整えて書こうとしている。 (思・判・表)自分で選んだ文字について理由を説明しようとしている。 (主学)毛筆に興味を持ち、特性を理解して繰り返し書こうとしている。	習字に親しもう	・毛筆による創作活動 ・自分の名前を書く
	7	(知及技)文章の構成や内容を考え、時間的な順序で情報を整理し、思い出のメッセージを書くことができる。(中1段階) (思判表力)話の中心を考えて、メッセージを書くことができる。(高1段階) (学・人)言葉のもつよさを理解し、感謝の気持ちを伝えることができる。(高1段階)	(知・技)文章の構成や内容を考え、時間的な順序で情報を整理し、思い出のメッセージを書くこととしている。 (思・判・表)話の中心を考えて、メッセージを書くこととしている。 (主学)言葉のもつよさを理解し、感謝の気持ちを伝えようとしている。	思い出のメッセージを書こう	・先輩へメッセージを書こう(送辞の原稿作り)
	5	(知及技)内容のまとまりや段落相互の関係に注意し、気持ちを表す言葉を用いて文章の構成を考えることができる。(高1段階) (思判表力)自分の経験したことを順序よく表し、意見やその理由を伝えることができる。(中2段階) (学・人)言葉のもつよさを理解し、自分の考えや思いを素直に表現できる。(高○段階)	(知・技)内容のまとまりや段落相互の関係に注意し、気持ちを表す言葉を用いて文章の構成を考えようとしている。 (思・判・表)自分の経験したことを順序よく表し、意見やその理由をつたえようとしている。 (主学)言葉のもつよさを理解し、自分の考えや思いを素直に伝えようとしている。	一年を振り返ろう お礼の手紙を書こう	・一年間の思い出を作文で書く。 ・お世話になった先生へ感謝のメッセージを書く。
留意点 引継ぎ等	[評価資料] 授業プリント(振り返りシート)/提出物/活動の様子で評価する。				

令和6年度 高等部 3年 (Ⅱ課程A) 国語科 年間指導計画

単位数 配当時間	生徒	担当者	教科書/副教材
2/70	3学年 Ⅱ課程A類型		参考図書『くらしに役立つ国語』(東洋館出版社)

目標:(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 詳細:(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標 (知及技)社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しむことができる。(高1段階)  
 (思判表力)筋道を立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようにする。(高1段階)  
 (学・人)言葉がもつよさを認識するとともに、幅広く読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。(高1段階)

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	70	(知及技)文や文章の中で漢字と仮名を使い分けて書くことができる。(高2段階) (思判表力)間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えることができる。(高1段階) (学・人)言葉がもつよさを認識し、思いや考えを伝え合おうとすることができる。(高1段階)	(知・技)文や文章の中で漢字と仮名を使い分けて書くこと意識している。 (思・判・表)間違いを正そうとしたり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えようとしている。 (主学)言葉がもつよさを認識し、思いや考えを伝え合おうとしている。	語彙を広げよう 正しく読もう書こう	・実習に関することは、卒業後の生活に関することばを読んだり書いたりする。 ・イラストを説明し
	2	(知及技)相手を見て話したり聞いたりするとともに、間の取り方などに注意して話することができる。(高1段階) (思判表力)相手に伝わるように、言葉の抑揚や強調、間の取り方などを工夫することができる。(高1段階) (学・人)言葉がもつよさを認識し、思いや考えを伝え合おうとすることができる。(高1段階)	(知・技)相手を見て話したり聞いたりするとともに、間の取り方などに注意して話そうとしている。 (思・判・表)相手に伝わるように、言葉の抑揚や強調、間の取り方などを工夫しようとしている。 (主学)言葉がもつよさを認識し、思いや考えを伝え合おうとしている。	自己紹介をしよう (自分のことを伝えよう)	・簡単な文章やイラストなどを用いて、読み手に相手に伝わるように自己紹介シートを作成する。 ・自分の好きなことや得意なこと、長所などの情報を簡単にまとめ、仲間や先生などへ紹介をする。 ・友達との自己紹介シートを見たり、自己紹介を聞いたりして、気づいたことや感じたことを発表する。
1学期	6	(知及技)日常よく使われる敬語を理解し使うことができる。(高1段階) (思判表力)社会の中で関わる人の話などを、話し手が伝えたいことの中心に注意して聞き、話の内容を捉えることができる。(高1段階) (学・人)言葉がもつよさを認識し、思いや考えを伝え合おうとすることができる。(高1段階)	(知・技)日常よく使われる敬語を理解し使うこととしている。 (思・判・表)社会の中で関わる人の話などを、話し手が伝えたいことの中心に注意して聞き、話の内容を捉えようとしている。 (主学)言葉がもつよさを認識し、思いや考えを伝え合おうとしている。	あいさつと丁寧語	・実習前あいさつを想定して、実習のあいさつでの自己紹介を行う。 ・名刺(名札)に、自分のことを簡単にまとめる。 ・自分のことが相手に伝わるよう、言葉使用について考えたり、敬語を学び、あいさついかす。
	5	(知及技)表現したり理解したりするために必要な語句の量を増やし、話や文章の中で使うとともに、言葉には、性質や役割による語句のまとまりがあることを理解することができる。(高1段階) (思判表力)書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけようとする。(高1段階) (学・人)言葉がもつよさを認識し、思いや考えを伝え合おうとすることができる。(高1段階)	(知・技)表現したり理解したりするために必要な語句の量を増やし、話や文章の中で使うとともに、言葉には、性質や役割による語句のまとまりがあることを理解しようとしている。 (思・判・表)書こうとしたことが明確になっているかなど、文脈に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけようとしている。 (主学)言葉がもつよさを認識し、思いや考えを伝え合おうとしている。	表語俳句を作ろう 平和に関する詩(話)を読もう	・実習の振り返り、体験したことを決められた音数でまとめる。 ・友達で作った俳句を鑑賞し、感想を伝える。 ・平和に関する物語の読み聞かせを聞いたり、音読したりする。
	5	(知及技)文字の組み立て方を理解し、形を整えて書くことができる。(高1段階) (思判表力)相手や目的を意識して書くことを決め、集めた材料を基に書くなど、伝えたいことを明確にすることができる。(高1段階) (学・人)用紙全体との関係に注目して書こうとすることができる。(高1段階)	(知・技)文字の組み立て方を理解し、形を整えて書くこととしている。 (思・判・表)相手や目的を意識して書くことを決め、集めた材料を基に書くなど、伝えたいことを明確にしようとしている。 (主学)用紙全体との関係に注目して書こうとしている。	はがきを出そう	・はがきの基本的な書き方を学び、お礼状、暑中見舞いを書く ・実習前に季節のあいさつを書く
2学期	8	(知及技)幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くことができる。(高1段階) (思判表力)登場人物の行動や心情などについて、叙述を基に捉えることができる。(高1段階) (学・人)書き手の思いや考えに触れることを通して、思いや考えを伝え合おうとすることができる。(高1段階)	(知・技)幅広く読書に親しみ、読書から必要な知識や情報を得ようとしている。 (思・判・表)登場人物の行動や心情などについて、叙述を基に捉えようとしている。 (主学)書き手の思いや考えに触れることを通して、思いや考えを伝え合おうとしている。	読み聞かせをしよう	・他学部の児童生徒へ読み聞かせを行う。 ・図書館の活用について学び、好きな本を選び
	5	(知及技)話し言葉と書き言葉の違いがあることに気付くことができる。(高2段階) (思判表力)相手に伝わるように、言葉の抑揚や強調、間の取り方などを工夫することができる。(高1段階) (学・人)言葉がもつよさを認識し、思いや考えを伝え合おうとすることができる。(高1段階)	(知・技)話し言葉と書き言葉の違いに気付く。 (思・判・表)相手に伝わるように、言葉の抑揚や強調、間の取り方などを工夫しようとしている。 (主学)言葉がもつよさを認識し、思いや考えを伝え合おうとしている。	マイクで話そう	・運動会のアナウンスを想定し、アナウンサーになったつもりで原稿を読む。 ・後期実習において電話での休みの連絡の仕方を学ぶ
	10	(知及技)いろいろな種類の本があることを知り、文章の構成や内容を理解し、読み聞かせなどに取り組むことができる。(高1段階) (思判表力)登場人物の行動や心情などについて叙述を基にとらえようとする。(高1段階) (学・人)本に親しみ、さまざまな表現を楽しむことができる。(高1段階)	(知・技)いろいろな種類の本があることを知り、文章の構成や内容を理解し、読み聞かせなどに取り組もうとしている。 (思・判・表)登場人物の行動や心情などについて叙述を基にとらえようとしている。 (主学)本に親しみ、様々な表現を楽しもうとしている。	本に親しむ	・読書日問と関連させ、自分の好きな本を見つける。 ・様々な本を読み、おすすめの一冊を決める。 ・友達との紹介した本に興味を持ち、感想を伝える。
2学期	8	(知及技)親しみやすい古文などの文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。(高2段階) (思判表力)登場人物の心情や情景について、場面と結び付けて具体的に想像することができる。(高1段階) (学・人)古典作品を音読しようしたり、暗誦したりしてすすんで親しむことができる。(高1段階)	(知・技)親しみやすい古文などの文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。(高1段階) (思・判・表)登場人物の心情や情景について、場面と結び付けて。(高1段階) (主学)古典作品を音読したり、友達との音読に注目しようとしている。(高1段階)	古典作品に親しむ	・昔話や落語と関連させる。 ・竹取物語、寿限無、徒然草、平家物語
	12	(知及技)筆の扱いや運筆、文字の組み立て方や形を整えて書くことができる。(高2段階) (思判表力)自分で選んだ文字について理由を説明することができる。(高1段階) (学・人)毛筆の特性を活かして、毛筆で自分の名前を整えて書こうとすることができる。(高1段階)	(知・技)筆の扱いや運筆、文字の組み立て方や形を整えて書くことができる。(高2段階) (思・判・表)自分で選んだ文字について理由を説明することができる。(高1段階) (主学)毛筆の特性を活かして、毛筆で自分の名前を整えて書こうとすることができる。(高1段階)	習字に親しむ	・書き初めに取り組み ・自分の名前を書く(卒業式に向けて)
3学期	5	(知及技)文章の構成や内容を考え、時間的な順序で情報を整理し、思い出のメッセージを書くことができる。(中1段階) (思判表力)話の中心を考えて、メッセージを書くことができる。(高1段階) (学・人)言葉の持つよさを理解し、感謝の気持ちを伝えることができる。(高1段階)	(知・技)文章の構成や内容を考え、時間的な順序で情報を整理し、思い出のメッセージを書こうとしている。 (思・判・表)話の中心を考えて、メッセージを書くこととしている。 (主学)言葉の持つよさを理解し、感謝の気持ちを伝えようとしている。	お礼の手紙を書こう	・後輩や先生へのメッセージを書く(答辞との関連)
	5	(知及技)内容のまとまりや段落相互の関係に注意し、気持ちを表す言葉を用いて文章の構成を考えることができる。(高1段階) (思判表力)自分の経験したことを順序よく表し、意見やその理由を伝えることができる。(中2段階) (学・人)言葉の持つよさを理解し、自分の考えや思いを素直に表現できる。(高1段階)	(知・技)内容のまとまりや段落相互の関係に注意し、気持ちを表す言葉を用いて文章の構成を考えようとしている。 (思・判・表)自分の経験したことを順序よく表し、意見やその理由をつたえようとしている。 (主学)言葉の持つよさを理解し、自分の考えや思いを素直に伝えようとしている。	一年を振り返ろう	・これまでの学校生活を振り返り、思い出に残っている出来事を書く。(答辞との関連)
留意点 引継ぎ等		【評価資料】 授業プリント(振り返りシート)/提出物/活動の様子で評価する。			

令和 6 年度 高等部 1 年 (Ⅱ課程B) 国語科 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2 / 70	1～3年生ⅡB (5名)		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 日常生活に必要な身近なことがわかり、その特質を理解し、いろいろな言葉や我が国の言語文化に触れることができる。(小1～3段階) (思判表力) 日常生活における人との関わりの中で、言葉に注目し、自分の思いを持ち、伝え合うことができる。(小1～中2段階) (学・人)言葉で表現することのよさを感じ、言葉を使おうとする態度を養う。(小1～3段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	年間	(知及技) 話す相手を注視して、話しかけへの注目し、物事の内容を表す言葉の働きに気づき、言葉で伝え合うことができる。(小1～3段階) (思判表力) 身近な人の話しかけに注目、応答し、発音や声の大きさに注意して自分の気持ちを伝えたり、合図することができる。(小1～3段階) (学・人) 言葉のもつよさを理解し、自分の思いを言葉や合図で伝えようとする。(小1～3段階)	(知・技) 話す相手を注視しようとし、話しかけへの注目をしたり、言葉や合図で伝え合おうとしている。 (思・判・表) 身近な人の話しかけに注目、応答し、発音や声の大きさに注意して自分の気持ちを伝えたり、合図しようとしている。 (主学) 言葉のもつよさを理解し、自分の思いを言葉や合図で伝えようとしている。	・身近な人の言葉に注目し、言葉かけへの興味をもつことができる。 ・言葉のもつ意味とよさに気が付くことができる。	・身近な人の言葉に注目し、言葉かけへの興味をもたせる活動に取り組む。 ・言葉のもつ意味とよさに気が付ける活動に取り組む。
	4	(知及技) 話す相手を注視して、話しかけへ注目することができる。(小1段階) (思判表力) 身近な人の話しかけに注目、応答し、発音や声の大きさに気をつけて返事や合図をすることができる。(小1～3段階) (学・人) 言葉のもつよさを理解し、自分の思いを伝えようとする。(小2段階)	(知・技) 話す相手を注視しようとし、話しかけへの注目をしようとしている。 (思・判・表) 身近な人の話しかけに注目、応答し、発音や声の大きさに気をつけて返事や合図をしようとしている。 (主学) 言葉のもつよさを理解し、自分の思いを伝えようとしている。	自己紹介しよう！ あいさつしよう！	・自己紹介を通して他者からの話しかけに注目し、合図をする意識を高める。 ・適切な言葉であいさつや、合図ができるよう、話す人に注目する活動に取り組む。
	10	(知及技) 話しかけに注目し、言葉と気持ちや行動の結びつきに気が付くことができる。(小2段階) (思判表力) 教師の読み聞かせによる表現に注目し、表情や身振りで応答することができる。(小1段階) (学・人) 教師の支援を受けて、言葉や合図で自分の思いを伝えることができる。(小1段階)	(知及技) 話しかけに注目し、言葉と気持ちや行動の結びつきに気づこうとしている。 (思判表力) 教師の読み聞かせによる表現に注目し、表情や身振りで応答しようとしている。 (主学) 教師の支援を受けて、言葉や合図で自分の思いを伝えようとしている。	ことばあそび よみきかせ	・言葉の響きや、リズム、心情を表す簡単な語句を理解できる取り組みを行う。 ・声や表情から、話しかけている人へ注目できる活動を行う。

6	<p>(知及技) いろいろな筆記用具に触れ、文字に興味をもつことができる。(小1段階) (思判表力) 文字に興味・関心を持ち、なぞりや記述ができる。(小1段階) (学・人) 言葉のもつよさを理解し、自分の思いを伝えようとする。(小1段階)</p>	<p>(知及技) いろいろな筆記用具に触れ、文字に興味を持とうとしている。 (思判表力) 文字に興味・関心を持ち、なぞりや記述しようとしている。(小1段階) (主学) 言葉のもつよさを理解し、自分の思いを伝えようとしている。(小2段階)</p>	おてがみを書こう①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃お世話になっている人へ、教師と一緒にさまざまな筆記用具を用いて暑中見舞いを書く。</li> <li>・平和学習「平和メッセージ」を書く</li> </ul>
6	<p>(知及技) かるたに書かれた平仮名や絵の表す言葉を理解できる。(小2段階) (思判表力) うちなーぐちの昔話を聞き、言葉のリズムや響きに親しむことができる。(小1段階) (学・人) 教師の話に注目し、様々な人と関わりながら言葉の響きを楽しむことができる。(小1段階)</p>	<p>(知及技) かるたに書かれた平仮名や絵の表す言葉を理解しようとしている。 (思判表力) うちなーぐちの昔話を聞き、言葉のリズムや響きに親しもうとしている。 (主学) 教師の話に注目し、様々な人と関わりながら言葉の響きを楽しもうとしている。</p>	かるたあそび 沖縄の昔話	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄の昔話や、うちなーぐちカルタに書かれた方言の響きや言葉の意味に楽しむ。</li> </ul>
9	<p>(知及技) 教師の読み聞かせに注目することができる。(小1段階) (思判表力) さまざまな絵本の読み聞かせに親しみ、内容や表現の良いところを共有することができる。(小1～中2段階) (学・人) 教師の支援を受けて、自分の気持ちや考えを伝えることができる。(小1段階)</p>	<p>(知及技) 教師の読み聞かせに注目しようとしている。 (思判表力) さまざまな絵本の読み聞かせに親しみ、教師と一緒に内容の良いところを共有しようとしている。 (主学) 教師の支援を受けて、自分の気持ちや考えを伝えようとしている。</p>	いろいろな読み聞かせ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・好きな絵本を選び、読み聞かせを通して本に親しむ。</li> <li>・教師と一緒に絵本の読み聞かせに取り組む。</li> <li>・絵本の発表会に参加する。</li> </ul>
10	<p>(知及技) 絵本の読み聞かせを通して教師の話しかけに注目し、物事の内容を表す言葉の働きに気づくことができる。(小3段階) (思判表力) 教師の読み聞かせに応じ、表情や身振り、音声、合図で模倣したり、応答することができる。 (学・人) 教師や他者と関わりながら、絵本の発表会に参加することができる。(小1段階)</p>	<p>(知及技) 絵本の読み聞かせを通して教師の話しかけに注目し、物事の内容を表す言葉の働きに気づこうとしている。 (思判表力) 教師の読み聞かせに応じ、表情や身振り、音声、合図で模倣したり、応答しようとしている。 (主学) 教師や他者と関わりながら、絵本の発表会に参加しようとしている。</p>	読み聞かせ 発表会をしよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・好きな絵本を選び、読み聞かせを通して本に親しむ。</li> <li>・教師と一緒に絵本の読み聞かせに取り組む。</li> <li>・絵本の発表会に参加する。</li> </ul>
8	<p>(知及技) いろいろな筆記用具に触れ、文字に興味をもつことができる。(小1段階) (思判表力) 文字に興味・関心を持ち、なぞりや記述ができる。(小1段階) (学・人) 言葉のもつよさを理解し、自分の思いを伝えようとする。(小2段階)</p>	<p>(知及技) いろいろな筆記用具に触れ、文字に興味を持とうとしている。 (思判表力) 文字に興味・関心を持ち、なぞりや記述しようとしている。(小1段階) (学・人) 言葉のもつよさを理解し、自分の思いを伝えようとしている。(小2段階)</p>	おてがみを書こう②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師と一緒にお世話になっている人へ感謝の気持ちを込めて年賀状を書く。</li> </ul>

3 学 期	9	<p>(知及技) いろいろな筆記用具に触れ、文字に興味をもつことができる。(小1段階)</p> <p>(思判表力) 文字に興味・関心を持ち、なぞりや記述ができる。(小1段階)</p> <p>(学・人) 言葉のもつよさを理解し、自分の思いを伝えようとする。(小2段階)</p>	<p>(知及技) いろいろな筆記用具に触れ、文字に興味を持とうとしている。</p> <p>(思判表力) 文字に興味・関心を持ち、なぞりや記述しようとしている。</p> <p>(学・人) 言葉のもつよさを理解し、自分の思いを伝えようとしている。</p>	筆に親しもう	・教師の手添えで筆ペンや毛筆を持ち、文字を書くことに興味を持つ。
	5	<p>(知及技) かるたに書かれた平仮名や絵の表す言葉を理解できる。(小2段階)</p> <p>(思判表力) 昔話を聞き、言葉のリズムや響きに親しむことができる。(小1段階)</p> <p>(学・人) 教師の話に注目し、様々な人と関わりながら言葉の響きを楽しむことができる。(小1段階)</p>	<p>(知及技) かるたに書かれた平仮名や絵の表す言葉を理解しようとしている。</p> <p>(思判表力) 昔話を聞き、言葉のリズムや響きに親しもうとしている。</p> <p>(学・人) 教師の話に注目し、様々な人と関わりながら言葉の響きを楽しもうとしている。</p>	かるたであそぼう	・昔話や、カルタに書かれた言葉の意味やリズムを楽しむ。
	3	<p>(知及技) 言葉や合図で自分の気持ちを伝えることができる。(小2段階)</p> <p>(思判表力) 表情や身振り、合図で応答することができる。(小1段階)</p> <p>(学・人) 教師の話に注目し、一年間の学習を振り返ることができる。(小2段階)</p>	<p>(知及技) 言葉や合図で自分の気持ちを伝えようとしている。</p> <p>(思判表力) 表情や身振り、合図で応答しようとしている。</p> <p>(主学) 一年間の学習を振り返り、楽しかった取組みを教師と一緒に発表することができる。</p>	一年間をふりかえろう	・年間の学習の写真や動画の記録を見て一年間の振り返りを行う。
留意点 引継ぎ等					